

しが

組合活性化情報 中小企業

2024.
11 月号
NO.680



滋賀県大津市：西教寺

青年たちの絆

- ▶ 滋賀県瓦工事協同組合 青年部

業界 et cetera

- ▶ 滋賀県信用組合
- ▶ 滋賀県製麺工業協同組合

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合特集

- ▶ プラスチックごみ・食品ロス削減優良
取組表彰受賞
- ▶ 魅力発見! 地産地消大交流会開催

中央会つうしん

- ▶ 中小企業組合GXセミナー 開催
- ▶ 町村会・市長会 要望
- ▶ 特定地域づくり事業協同組合制度 説明会(甲賀市)
- ▶ 商店街活性化セミナー 開催
和歌山大学 副学長 足立 基浩 氏
- ▶ しが中小企業女性中央会 近畿ブロック交流会
岐阜県中央会レディースクラブ交流会
- ▶ 商工中金情報連絡会 開催
- ▶ 中小企業団体情報連絡員会議 オンライン開催
- ▶ 第76回中小企業団体全国大会 開催

Cover

- 中小企業団体全国大会
- 滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合
- しが中小企業女性中央会
岐阜県中央会レディースクラブ&近畿ブロック



中小企業団体全国大会



滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合
地産地消大交流会の様子



アップサイクルリース体験
(岐阜県中央会レディースクラブとの交流会)



石山寺での交流会(女性中央会近畿ブロック交流会)



ネットワークで中小企業をサポート

滋賀県中小企業団体中央会

発行

<https://chuokai-shiga.or.jp/>

～既存事業の変換から始める～

中小企業組合GX推進セミナー 開催



セミナーの様子

当会では、10月21日(月)に大津市コラボしが21において、中小企業組合GX推進セミナーを開催しました。セミナーでは、「中小企業者等が取り組むべきGXとは」というテーマで概要説明が行われたほか、実際に取組を進める滋賀県製麺工業協同組合（理事長 富江 彦仁 氏）、滋賀県電気工事工業組合（理事長 鹿野 敏夫 氏）、滋賀県電器商業組合（理事長 坂口 昌弘 氏）の事例紹介が行われました。

滋賀県製麺工業協同組合の富江理事長からは組合の「環境保全を目的とした包装資材の改善によるCO₂削減事業」について新作米粉麺のパッケージをプラスチック素材からクラフト紙に変更する試作開発の取組が紹介されました。これが実用化されれば包装資材1枚あたりのプラスチック使用量が76%削減できることに加え、CO₂排出量も75%削減が可能となります。

滋賀県電気工事工業組合の林事務局長からは「CO₂ネットゼロ社会を目指したインフラ整備事業」について組合が2023年に滋賀県と締結したCO₂ネットゼロ社会づくりの協定に基づき、県内の電気自動車充電設備の設置を進める取組が紹介されました。既に宿泊施設などで複数の契約が成立しており、不足する電気自動車充電設備の充実に向け取組が進められています。

滋賀県電器商業組合の安本副理事長からは「太陽光発電システム・V2H・電気自動車充電設備設置契約比較研修会事業」について家電製品の枠に収まらない最新の省エネ機器の提案を顧客に行う取組が紹介されました。適切なアドバイスにより顧客の電気代および家庭部門のCO₂排出量削減への貢献が期待されます。

セミナーでは、こうした取組を実際に進めるうえでの各種支援策についても滋賀県 琵琶湖環境部

循環社会推進課 係長 野村 俊夫 氏から先駆的取組を進める企業・団体等への財政的支援などが紹介されたほか、滋賀県産業支援プラザCO₂ネットゼロ支援室 室長 栃尾 一紀 氏から「無料省エネ診断」や「省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金」等が紹介されました。また、組合のための金融機関である株式会社商工組合中央金庫 大津支店 営業第一課 花本 爽輔 氏からは同社が進める脱炭素経営支援メニューや支援事例が紹介されました。



富江 彦仁 理事長



林 邦昭 事務局長



安本 久志 副理事長



野村 俊夫 係長



栃尾 一紀 室長



花本 爽輔 氏

滋賀県町村会定期総会・市長会 要望

10月7日(月)開催の滋賀県町村会定期総会において、県内6町長に対し宇野専務理事から直接要望活動を実施。「第74回中小企業団体滋賀県大会」の14項目の決議事項の中で、市町に対する要望事項である「地元中小企業・官公需適格組合等への受注機会の拡充、物価高騰や労務費を反映した適正な価格・工期での早期発注の実現」「地域の実態に即した商業者支援による商店街の価値向上と振興発展」「人手不足解消に向けた特定地域づくり事業協同組合制度の周知と活用」の3点について説明を行いました。

また、10月28日(月)には滋賀県市長会の事務局へ市長に対する要望事項の3点の要望活動を実施し、29日開催の滋賀県市長会議での説明を依頼しました。地元中小企業等への受注機会の拡充では、第79回国民スポーツ大会等での積極的な活用を要望し、特定地域づくり事業協同組合制度においては、制度上の人口減少地域の考え方や人手不足対策・移住定着政策への活用等を具体的に説明しました。



町村会定期総会での説明の様子



市長会への要望

特定地域づくり事業協同組合制度 説明会・意見交換会(甲賀市)開催

当会では、10月16日(水)に甲賀市役所において、市商工労政課・農業振興課の声かけにより、陶器製造、酒造、茶業の各事業者とまちづくり会社の参加で特定地域づくり事業協同組合制度の説明会・意見交換会を開催。制度概要は県総務部市町振興課がオンラインで説明し、その後意見交換を行いました。



説明会・意見交換会の様子

質疑応答では、組合運営にはコーディネーター機能を有する事務局が必要なことや、組合派遣職員の募集方法には、移住・定住関連部署との連携や空き家バンクを活用されている他、派遣職種・期間・労働内容に加え、職員の組合員企業への就職・リクルートへのルールづくり等について、他府県の先進事例を紹介しました。

繁忙期には、高額な短期バイト等で人員を手配、対応している事業者も多い様子が伺え、今後も安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保した職場を創出し、地域内外の若者等呼び込み、地域中小企業等の事業の維持・拡大を推進する当制度の活用に向け市商工労政課と連携し検討していく予定です。

特定地域づくり事業協同組合制度：
詳しくはコチラ→



滋賀県商店街振興組合連合会 商店街活性化セミナー 開催

当会が事務局を運営する滋賀県商店街振興組合連合会（会長 前田 範夫 氏）では、10月9日（水）クサツエストピアホテルにおいて、読売テレビ「す・またん」「かんさい情報ネットten.」に出演中の和歌山大学副学長・経済学部教授 足立 基浩 氏を講師に「商店街における外部人材活用の取組みと地域再生について」をテーマに、セミナーを開催。

足立氏は、地域再生とまちづくり・都市再生に関する研究が専門で、全国商店街振興組合連合会の商店街近代化研究会委員長に就任されており、全国の商店街を取り巻くトレンドを中心に最新の商店街活性化への外部人材活用法・事例を解説。特に商店街のまちづくりには、まちの「宝」を「探し、磨いて、育てる」こと、「センチメンタル価値（地域への愛着）」の重要性を力説、そうすれば必ず活性化すると断言されました。

終了後には、足立氏を囲み交流懇談会を開催、商店街の問題点や運営等について意見交換も行われました。



セミナーの様子



講師の足立氏

しが中小企業女性中央会

岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブ交流会 開催 女性中央会近畿ブロック交流会 開催

しが中小企業女性中央会では、10月2日（水）に東近江市にて岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブとの交流会を開催し、10月8日（火）には大津市で女性中央会近畿ブロック交流会を開催しました。

岐阜中央会レディースクラブとの交流会ではファブリカ村を訪問し、会員で運営会社社長の北川陽子氏からファブリカ村での事業や環境に配慮した取組について学ぶとともに、アップサイクルリース作りを体験しました。その後料亭「鮎清」へ場所を移し、それぞれの活動報告や自己紹介を行い参加者は交流を深めました。

女性中央会近畿ブロック交流会では、滋賀県が開催県として京都府中小企業女性中央会、ELLE-Place大阪の会員を迎え、大津市の石山寺で開催しました。交流会では各府県の女性中央会の活動発表を行い、交流懇親会では和やかに交流しました。

しが中小企業女性中央会では、今後も積極的に他府県の女性経営者の方々と交流していく方針です。



アップサイクルリース体験の様子（レディースクラブ交流会）



各府県活動発表の様子（近畿ブロック交流会）

商工組合中央金庫との情報連絡会 開催

9月18日(水)、大津市コラボしが21において(株)商工組合中央金庫大津・彦根支店（支店長 藤居 耕次郎 氏）から14名に参加いただき、情報連絡会および懇親会を開催しました。

情報連絡会では、中小企業組合支援の両輪と位置づけられている商工中金と中央会が、相互連携しながら中小企業組合および組合員企業の事業価値向上に貢献するため、情報共有および意見交換を行いました。

商工中金の金融支援機能と中央会の組合事業支援機能を組み合わせることにより、組合・組合員企業の事業価値向上に向けた取組を今後も連携しながら展開していくことを再度確認しました。

懇親会では、近江の地酒で乾杯した後、湖魚の佃煮や鮎ずし等を食しながら、現場での支援方法などの話題が若手・中堅職員を中心に盛り上がり、組織の枠を超えた有意義な懇親の場となりました。



情報連絡会の様子



懇親会乾杯の様子

中小企業団体情報連絡員会議 オンライン開催

10月2日(水)、景況レポートとして毎月報告をお願いしている情報連絡員を対象に、オンラインによる中小企業団体情報連絡員会議を開催。冒頭、「滋賀県の経済情勢について」財務省近畿財務局大津財務事務所の財務課長の深田 貴裕 氏から解説・報告いただきました。県経済情勢については11月上旬に直近の情勢報告が公表される予定ですが、個人消費動向は、節約志向が引き続いているが緩やかに回復。生産活動は、自動車メーカーの認証不正問題の影響が緩和され生産回復、猛暑の影響で関連商品が伸長との見通しを話されました。

情報連絡員の意見交換としては、6組合から業種別景況感を報告。多くの組合では、原材料の値上がり・人件費高騰によるコスト増加と収益悪化、2024年問題による働き方改革の対応、人手不足・人材育成・事業承継等の状況が報告される一方で、国・県等の施策を活用した事業展開、大阪・関西万博への協力出展などの前向きな意見も交わされました。



大津財務事務所 深田課長



オンライン会議配信の様子

第76回 中小企業団体全国大会 福井で開催

10月24日(木)、福井市・フェニックス・プラザで、第76回中小企業団体全国大会が開催され、全国から中小企業団体の代表者約2,000名が参集しました。本県からは北村会長以下、表彰者を含め4名が参加いたしました。

中村 保博（福井県副知事）、西行 茂（福井市長）からの歓迎挨拶や、関根 正裕（株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長）からのご祝辞のほか、武藤 容治（経済産業大臣）及び福岡 資麿（厚生労働大臣）からのビデオメッセージが披露されました。

大会においては、中小企業・小規模事業者等の成長促進支援等環境変化対応、成長促進支援等の拡充、中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進、中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備など14項目の決議案が採択され、「大会宣言」が



全国大会の会場風景

高らかに宣言されました。

大会に併せて、優良組合（43組合）、組合功労者（72名）、中央会優秀事務局専従者（25名）の表彰が執り行われ、滋賀県からは、下記の4名が表彰されました。

来年度の第77回中小企業団体全国大会は、令和7年11月12日(水)に、広島市「広島県立総合体育館」で開催される予定です。

組合功労者	滋賀バルブ協同組合	理 事 長	濱 口 浩 一 様
組合功労者	滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合	理 事 長	前 川 為 夫 様
中央会優秀事務局専従者	滋賀県中小企業団体中央会	総務課主査	川那辺 真 司
		振興課主査	松 本 淳 美

省力化投資補助金だより 第8回

応募・交付申請 随時受付中

中小企業省力化投資補助金とは、人手不足解消に効果があるロボットやIoTなどの製品を導入するための経費を国が補助することにより簡易で即効性がある中小企業の省力化投資を促進し、売上拡大や生産性向上を図るとともに賃上げにつなげることを目的とした補助金です。

- カタログに登録された省力化商品から、自社の課題に合わせて製品を選択できます！
- 販売事業者が製品の導入を支援！申請・手続きもサポートします。
- 補助率は1/2補助上限は従業員数ごとに異なります。

本補助金の詳細や対象製品のリスト(カタログ)、公募要領などはこちらから→

採択・交付決定は申請から概ね1～2ヶ月程度を予定しています。

補助事業期間：原則、交付決定日から12か月以内



◇補助対象製品のカテゴリ
どんどん拡大中!!

例えば、
小売業×清掃ロボット
例えば、
宿泊業×スチームコンベクションオープン
例えば、
飲食サービス業×券売機
例えば、
製造業×無人搬送車

インフォメーション窓口(中央会内 滋賀県省力化補助金事務局)

中央会では、地域事務局として相談窓口を設置しております。交付申請等ご不明な点をご相談ください。

TEL.077-548-8566 お問合せ時間：9:00～17:00/月曜～金曜(土・日・祝日除く)

[ご来会希望時のご予約はこちら]



<https://reserva.be/shoryokuka>

大津市打出浜3-7 滋賀県産業振興(協)3F ものづくり支援室内

スペースの関係上3名程度まででお越しいただきますようお願いいたします。

令和6年度オープンセンターのご案内

滋賀県東北部工業技術センターでは、センターをより知ってもらうために施設を一般公開します。今年は、ゴムやプラスチックにトラブルが発生した場合の対応をテーマにセミナーや施設見学、機器利用の体験などを行います。これまでご存じなかった方もぜひご参加ください。

●日時・場所等

日時：令和6年12月11日(水) 10：00～16：00
場所：滋賀県東北部工業技術センター 長浜庁舎（長浜市三ツ矢元町27番39号）

参加費：無料

●プログラム

10：00～11：45 実践！原因追及コース
定員：3組

センターの機器をお客様ご自身が操作しプラスチックなどに発生したトラブルを解明するコースです。センター職員が解明の方法や機器の選定や操作などマンツーマンでサポートします。

※トラブルの発生した試料はセンターが用意します。

コース1：繊維状異物の同定コース

コース2：プラスチック部品の破壊原因解明コース等

13：15～14：45 セミナー

「ゴム・プラスチック材料の欠点とトラブル（仮）」
講師：長岡技術科学大学特任教授

大武 義人 氏

15：00～16：00 施設見学と体験

定員：各コース5名程度

主な機器を見学することでセンターでどのようなことができるのかを知ることのできるコースとトラブルの発生した試料を複数機器で分析することでトラブル対応の流れを体験できるコースです。

・センター活用総合コース（見学）

・トラブル対応特化コース（体験）

●詳細およびお申し込み

詳細はコチラ→

●お問い合わせ

滋賀県東北部工業技術センター 長浜庁舎 岡田
TEL.0749-62-1492 FAX.0748-62-1450



11月15日 滋賀県産業安全の日

滋賀労働局においては、平成3年に毎年11月15日を「滋賀県産業安全の日」と定め、労働災害防止についての意識の高揚を図ってきました。また、より多くの事業場、業種において労働災害防止に向けた機運を向上させること、各事業場で既に取り組んでいる安全衛生活動の実効性を高めることを目的として、滋賀県産業安全の日を中心とする1か月間の無災害運動を提唱し、事業場の自主的な取組を活性化し、年末に向けて労働者一人ひとりの労働災害防止の意識高揚を図ることとします。

●実施期間

滋賀県産業安全の日 11月15日
準備期間 11月1日～11月14日
改善期間 11月16日～11月30日
無災害運動期間 11月1日～11月30日

●実施事項

(1) 準備期間中に実施する事項

- ① 「滋賀県産業安全の日」の横断幕、立て看板、ポスター等の掲示
- ② 「滋賀県産業安全の日」に関する行事の準備
- ③ 安全基準や安全作業標準の総点検
- ④ リスクアセスメントの実施（ハザード特定、リ

スク評価、見直し）

(2) 「滋賀県産業安全の日」に実施する事項

- ① 経営トップによる安全衛生に対する意識を高めるための意思表示
- ② 経営トップによる安全衛生パトロールの実施
- ③ 安全衛生に対する取組についての労働者の家族に対する周知

(3) 改善期間中に実施する事項

- ① リスクアセスメントの実施結果に基づく改善計画の策定及びその実施
- ② 安全基準や安全作業標準の周知及び遵守状況の確認

(4) 無災害運動期間中に実施する事項

- ① 労働者一人ひとりの安全意識高揚を促す啓発活動
- ② 労働災害を発生させない職場づくりのため、各事業場の特性に応じた安全衛生活動
- ③ メンタルヘルス対策、治療と職業生活の両立等、労働者の健康確保対策

詳細はコチラ→



滋賀県瓦工事協同組合は現在53社が加盟しており、小中学校出前授業や県内イベントに積極的に参加し、瓦屋根の魅力をPRしています。近年では令和6年度能登半島地震などで建物被害が多く見られる中、組合が取り組む「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」における施工住宅では被害がありませんでした。また令和4年度から令和5年度にかけて滋賀県瓦工事協同組合主催の高棟回転試験を行い、滋賀オリジナル工法も含め三種類の工法が合格となりました。守山市に訓練校を構え、集合訓練(学科・実技)では施工はもちろんのこと、建築概論から関係法規、製図、積算などを体系的に学ぶことができ、最短2年で技能士の資格を得られます。

青年部には12名の部員が所属し、全瓦連青年部主催8月8日の全国一斉屋根日のPR活動にも毎年参加し交流を深めています。これからも瓦事業の発展のため青年部員 組合員共に精一杯活動していきたいと思ひます。



しがわーくフェスタでのお仕事体験の様子



お仕事体験の取材の様子

滋賀県瓦工事協同組合webサイト
<https://shigakawara.com/>



景況レポート

県内33名の中小企業団体情報連絡員報告より

令和6年 9月分

前年同月比のDI値	県内		
	全体	製造業	非製造業
業界の景況	-18.8	-28.6	-11.1
売上高	3.1	-7.1	11.1
収益状況	-25.0	-35.7	-16.7

※DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標です。

(-100 ≤ DI値 ≤ 100)

DIの計算方法…増加・好転と答えた企業の割合 - 減少・悪化と答えた企業の割合

【例：調査数「20」のうち好転が「4」、不変が「6」、悪化が「10」とした場合…(4 - 10) / 20 * 100 = -30】

前年同月と比較した滋賀県内のDI値の推移

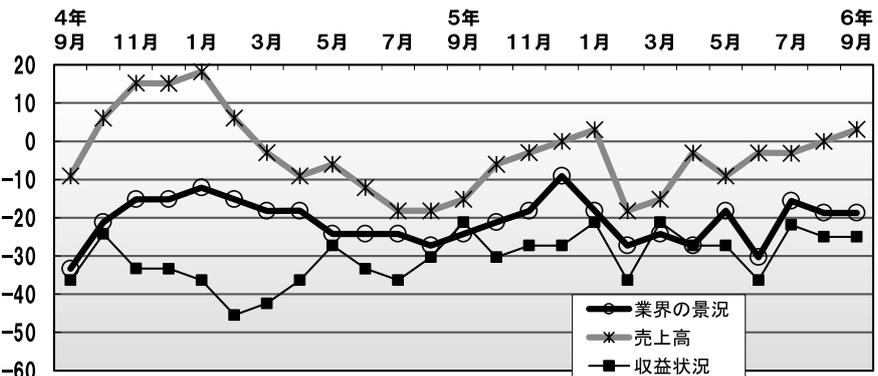
DI値が = 0以上

= -20以上0未満

= -40以上-20未満

= -60以上-40未満

= -60未満



(お天気アイコンの数値は平成13年以降のDI値の平均値を勘案して令和6年4月に改めました。)

県内の 景況推移

主要3指数は売上高のみ微増し、他2指数は横ばい。製造業・非製造業ともに残暑による影響が見られた。広告業や旅館・ホテル業では国スポに関連した大会や、イナズマロックフェスなどイベントが開催され売上向上が期待される。陶器製造業では大阪関西万博に関連した注文が入っている。

県内業界の声をピックアップ

製造業

酒 類	業務用・家庭用とも低調な需要。残暑のため日本酒の需要低下。
木材・木 製品総合	新築住宅着工件数が減少している中、木の香る淡海の家推進事業の申請件数も伸び悩んでおり、9月末までの申請件数が72件で、前年比33件の減少、約32%減となっている。
医 薬 品	製薬業は原料や瓶などの容器・包装のコストが上昇している。ジェネリック医薬品の促進は順調に進んでいるが、品質問題などから出荷停止などもあり、供給不安が問題となっている。また、薬価制度改正の対応が厳しい。一般用の医薬品はドラッグストアやインターネットでの販売に変化している。
陶器製品	陶土は前年比約73%、釉薬は前年比100%であった。強烈に残暑が長引いた事も影響して観光客は減少し、先月同様夏の続きの霽囲気の中で陶器製品の動きは極めて悪かった。今後の冷え込みと同時に始まる秋冬物の製品に期待している。大阪関西万博でタイルの展示や施設内で使用してもらうテーブルやツールを提供する予定である。国スポ・障スポなどでも記念品、炬火台などの注文が入っている。嬉しい話題もありつつ厳しい状況も続いている。
機 械 部 分 品	売上高・収益状況は、横ばいで推移。年度後半の引き合いも鈍く、先行き不透明感は否めない。

非製造業

電 気 機械器具	9月に入り営業の声などを聞いていると先納期の引き合いはそれなりにあるが、今月、来月の納期の現場が少なく売り上げは厳しい。なんとか前年カツカツという着地で前年のような勢いは感じられません。値上げ前の前倒しの注文が一段落した事や、気候・現場職人の人材不足などの影響で、納期が遅れ気味で進捗するなどが原因となっているようです。
茶	今年の9月は昨年より残暑が長く厳しく感じます。お彼岸のお供えや法事など多少の需要は有りますが例年通り低調な時期です。「水出し茶」を取り扱う店舗は販売期間を延長するようです。9月下旬から始まる秋摘みの番茶などは、日中の気温が25℃前後になるのを目安にするのですが、10月中旬まで待ちきれず始めた生産者もあります。取引額は2%から3%高が予想されます。10月後半には、組合の「秋の茶まつり」が実施されます。台風発生が多いようですが直撃や水害が無いことを願います。
広 告	・国スポ・障スポがプレ・イヤーということもあり会場運用試験を兼ねた各種大会が県内各会場で行われ、それに伴う案内看板の発注が増えている。これを組合にて共同受注し各支部に振り分けていることもあり、例年に比べ売り上げは伸びている。 ・販売価格については原材料費高騰に伴う上昇トレンドは一段落している。 ・コロナ関連融資の返済が資金繰りに影響を与え始めており重荷になっているとの声が多い。 ・秋のイベント受注なども順調に推移しており県内業界全体として景況感は好転したと考えて間違いなさそうである。
旅 館・ ホ テ ル	台風でのキャンセルで始まった9月。毎回ながらどこに請求することもできないので痛手である。また、今月はイナズマロックフェスがあり、20日は満室が目立った。設備点検などで休館をする施設もあり、繁忙期から一転少しゆっくりした1か月だった。 物価高で価格転嫁が難しいという声をよく聞くことが多い。人材不足も深刻でタイミーのようなすき間バイトの方が活躍している。
貨物輸送	売上高は若干の増加方向に転じているが、目立った増加にはなっていない。従来環境のままの進行状態である。燃料価格は若干の値上りとなった。業界環境は変化なく厳しい状況が続いている。

全国の景況レポートは全国中小企業団体中央会のwebページをご覧ください。
<https://www.chuokai.or.jp/index.php/category/news-keizai/>



全国特定地域づくり探訪

●鹿児島県最南端のヨロン島で離島ライフを楽しみながら地域を活性化！

ヨロンまちづくり協同組合

鹿児島県
与論町

活用のきっかけ・期待すること

- ▶人口減少や産業の担い手不足など課題が山積する与論町に危機感を感じ、「島を元気にしたい」という想いから、現理事長が中心となり人材不足に悩む地域の事業所に呼びかけ、趣旨に賛同した7事業所が発足メンバーとして集い、設立を目指した。
- ▶地域で働くなかで地域の魅力や課題等を体感し、地域での暮らしを楽しんでいただくとともに、地域と自分自身がより良くなれるよう、将来的には組合員事業者や地域事業者への雇用、地域での起業など、地域づくり人材として活躍することを期待している。

取組内容

▶移住者等を雇用し、地域の事業者へ派遣

地域の農業、各種商品小売業、宿泊業、社会保険・社会福祉・介護事業、こども園、スポーツ施設管理など9事業者の仕事を組合せ、年間通じた安定した仕事を創出。これまでに組合で雇用した11名(全員が移住者)の職員を各事業者に派遣(マルチワーク)することで、移住・定住を促進し、地域づくりや地域産業の担い手の確保・育成を目指している。

地域の活性化

▶組合員や地域の人と交流し、地域を知り、楽しむ

組合員や派遣職員の懇談会等を定期的に設け、交流を深めながら相互の情報共有を図るとともに、組合の研修の一環として地域の伝統工芸品づくりを行うなど、地域を知る活動も行っている。また、派遣職員が独自で夏祭りや町のイベント、集落行事等に参加しており、地域住民との交流やイベント参加を通じて、地域の活性化に繋がっている。

マルチワークのイメージ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員A												農業(さとうきび)
職員B												農業(さとうきび)
職員C												こども園・公共スポーツ施設
職員D												農業(さとうきび)

組合に関わる皆さんの声

▶組合員(サトウキビ収穫農家)

意欲ある方に移住をいただいております。なにより職員の方々から地域に溶け込み、島を楽しんでいただいていることがありがたい。また、島を盛り上げるためにチャレンジしたいという想いを持つ方も多く、地域にとって大きな力になると感じている。

▶派遣職員(30代神奈川県から移住)

スーパーや介護施設、農業や保育施設など様々な業種に従事。地域の様々な職業を経験できるほか、地域の方々との交流も楽しく、自然豊かな島で働くことができ、都会では味わえない充実感がある。



組合URL

<https://yoron-multiwork.com>

※この事例は、総務省webページに掲載された「特定地域づくり事業協同組合 優良事例集」を基に作成したものです。

安心 安全

国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金に不安を感じたら

無理のない月額で積立をしたい

制度の特長

1

経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2

掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3

受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

退職金の準備を
中小機構が
お手伝いします

他にもこんな特徴があります。

・月々の掛金は
1,000円から

・契約者貸し付けの
利用が可能

・共済金の受給権は
差押禁止

共済相談室 TEL. 050-5541-7171 【受付時間】平日 9:00~17:00

令和5年9月からオンライン手続きスタート

ご要望の多い一部の手続きについてオンライン手続きが出来ます。新規加入、掛金払込証明書の電子交付、掛金月額の増額減額、氏名・住所等の変更 など

小規模企業共済制度の詳しい内容は

2次元コード又はホームページから
ご確認ください。

小規模共済

検索



Be a Great Small.

中小機構



税理士 山本 善通 氏

組合税務相談室

ちょっと

教えて

Q&A

Question

貸倒損失

当組合は、設立以来、共同購買事業を実施してきましたが、当該事業に係る未収入金が組合員に対して発生しています。当該組合員は2年前に脱退していますが、残高について貸倒損失を計上したいと思います。貸倒処理の概要について教えてください。

Answer

【概要】

法人の有する金銭債権について、貸倒損失の計上が認められるための事実とその対象となる金額および損金算入時期は次のとおりです。

〈金銭債権が切り捨てられた場合〉（法律上の貸倒れ）

次に掲げるような事実に基づいて切り捨てられた金額は、その事実が生じた事業年度の損金の額に算入されます。

- 1 会社更生法、金融機関等の更生手続の特例等に関する法律、会社法、民事再生法の規定により切り捨てられた金額
- 2 法令の規定による整理手続によらない債権者集会の協議決定および行政機関や金融機関などのあっせんによる協議で、合理的な基準によって切り捨てられた金額
- 3 債務者の債務超過の状態が相当期間継続し、その金銭債権の弁済を受けることができない場合に、その債務者に対して、書面で明らかにした債務免除額

〈金銭の全額が回収不能となった場合〉（事実上の貸倒れ）

債務者の資産状況、資産能力等からその全額が回収できないことが明らかになった場合は、その明らかになった事業年度において貸倒れとして損金経理することができます。ただし担保物があるときは、その担保物を処分した後でなければ損金経理はできません。

なお、保証債務は現実に履行した後でなければ貸倒れの対象とすることはできません。

〈一定期間取引停止後弁済がない場合等〉（形式上の貸倒れ）

次に掲げる事実が発生した場合には、その債務者に対する売掛債権（貸付金などは含みません。）について、その売掛債権の額から備忘価額を控除した残額を貸倒れとして損金経理することができます。

- 1 継続的な取引を行っていた債務者の資産状況、支払能力等が悪化したため、その債務者との取引を停止した場合において、その取引停止の時と最後の弁済の時などのうち最も遅い時から1年以上経過したとき（ただし、その売掛債権について担保物のある場合は除きます。）

なお、不動産取引のように、たまたま取引を行った債務者に対する売掛債権については、この取扱いの適用はありません。

- 2 同一地域の債務者に対する売掛債権の総額が取立費用より少なく、支払を督促しても弁済がない場合

【組合の対応について】

貸倒損失の計上が認められるのは上記の場合が考えられますが、〈一定期間取引停止後弁済がない場合等〉に該当すれば、備忘価額を残して損金経理できるものと考えられます。



商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

大津支店 〒520-0047 大津市浜大津1-2-22
彦根支店 〒522-0073 彦根市旭町9-3

TEL:077(522)6791
TEL:0749(24)3831

ポリテクセンター滋賀主催 生産性向上支援訓練

◆◆◆ 年間 600社・1,000名様を超える方々にご利用いただいています ◆◆◆



内容よし！
講師よし！
コスパよし！

★ プレゼンの講評で具体的なアドバイスをいただき、すぐに活用できるよう改善できた。

★ 視点を変えて物事の判断を行うことができ、視野が広がった。

★ 自分に足りないものや将来の目標とするイメージが見えてくるなど、参加者にとっては良い経験となっている。学んだことを自部門のメンバーに展開してもらっている。
(N社・米原市)

開催日	コースNo	コース名	内容	会場/実施機関
12/11・12	050	相手に伝わるプレゼン資料作成と提案	プレゼンテーションソフトの活用/目的に合わせたスライド作成/資料提案時のポイント(プレゼン実習あり)	ポリテクセンター滋賀(大津市)/株式会社東京ナレッジプラン
1/15	029	多様な人材が活躍できる職場づくり	ダイバーシティ・マネジメントとは/生産性向上のためのダイバーシティ・マネジメントの評価と改善	ポリテクセンター滋賀(大津市)/株式会社日本能率協会コンサルティング
1/21	053	効率よく分析するためのデータ集計(Excel中級C)	データ集約/データ集計/データ集計に役立つ機能	ユウコム草津校(草津市)/株式会社ユウコム
2/18	030	成果を上げる業務改善	業務改善と業務の可視化/業務改善手法	ポリテクセンター滋賀(大津市)/パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社

- 対象者
事業主の指示により受講する従業員の方
(個人での受講はできません。)
- 定員
各コース 15人
(先着順。各コース1企業3名様まで。)
- 訓練時間
9:30~16:30(昼休憩12:30~13:30)
- 受講料
No.053 2,200円/人(税込み)
上記以外 3,300円/人(税込み)

- 申込方法等
 - ① 「受講申込書」のご提出(FAX・電子メール)
「受講申込書」は、当センターホームページからダウンロードしてご利用ください。
 - ② 請求書到着
 - ③ 受講料のお振り込み(開講日の14日前まで)
- 申込締切
開講日の14日前
- 年間スケジュールや各コースの詳しい内容をホームページに掲載しています。パンフレットをご希望の事業所様は、電子メールで送付先をご連絡ください。



滋賀県よろず支援拠点 & 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構滋賀支部 共催

ひとを活かす組織づくりのヒントシリーズ

長年にわたり培ったノウハウや開発したツール等をセミナー形式で紹介

無料

第4回 障害者雇用を進めていくために 12/16(月) 14:00~16:00 in ポリテクセンター滋賀

- ・ 障害者雇用を取り巻く状況
- ・ 障害者雇用の進め方
- ・ 活用できる支援機関や支援制度の概要
- ・ 雇用事例の紹介

- 定員 15人(先着順)
- 申込方法 滋賀県よろず支援拠点ホームページの「申込フォーム」からお申し込みください。 →
- 申込締切 12/11(水)

障害者を雇用したいけれど、不安をお持ちの事業主のみなさま、是非ご参加ください。



らしく、
はたらく、
ともに

JEED

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 滋賀支部

ポリテクセンター滋賀 生産性向上人材育成支援センター

〒520-0856 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分・京阪唐橋前駅から徒歩3分

(担当) 生産性センター業務課 TEL: 077-537-1176 <https://www3.jeed.go.jp/shiga/poly/>

FAX: 077-537-1215 E-mail: shiga-seisan@jeed.go.jp

滋賀大学での授業に青木理事長登壇 組合や組合事業をPR

滋賀県信用組合

滋賀県信用組合（理事長 青木 和夫 氏）では、10月21日（月）彦根市・滋賀大学彦根キャンパスにおいて、「地域社会における信用組合の役割」について講演されました。

この講演は今回2年目となる取組で、昨年度はオンラインのみの開催となりましたが、今年度は対面型の授業で開催されました。本講義は同大学経済学部の柴田 淳郎 准教授の協力を得て行われたもので、学生に対する知名度向上の取組として青木理事長が登壇されました。

当日は約250名の大学生が参加され、青木理事長は組合が地域に根ざした金融機関であるとともに、地元の小規模事業者の支援を主な業務としていることを説明されました。また、グループワークでは信楽焼の新たな可能性について学生から直接意見を伺うなどの交流が行われました。質疑応答では学生から金融機関で働くことの大変さについての質問もあり、理事長はそれぞれ丁寧に回答されていました。



グループワークの様子



青木理事長講演の様子

「湖南農業高校生」による県産小麦の 中華麺メニュー「草津PA」でデビュー

滋賀県製麺工業協同組合

滋賀県製麺工業協同組合（理事長 富江 彦仁 氏）では、滋賀県立湖南農業高等学校と連携して開発した県産小麦の近江中華麺のメニューを草津パーキングエリアで9月13日～11月7日の間販売されました。令和5年度から湖南農業高等学校や草津パーキングエリア等と協力して中華麺を使ったメニュー開発に着手され、試行錯誤を経て今回の発売に至りました。メニュー名は「琴の彩りラーメン（ことのいどりラーメン）」で、開発した高校生の名前にちなんで名付けられています。モチモチとした中華麺をベースに、地域食材である湯葉、赤こんにゃく、鴨肉などをトッピングとし、コクがありながらも和風のあっさりした味わいです。

組合ではこれまでも産学官連携など他団体と積極的な交流に取り組まれており、今後も地域の関係機関と連携して県産小麦で作られた近江の麺を地域ブランドとして育てていく方針です。



琴の彩りラーメン



メニュー開発の様子

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合特集

組合SDGs宣言による

「令和6年度滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減優良取組表彰」受賞 「滋賀県の魅力発見!地産地消大交流会」開催

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合（理事長 前川 為夫氏）では、2022年にSDGs宣言をされ、2030年までに「アメニティプラスチックゴミを0にする（環境の視点）」、「滋賀県産食材の利用量を50%にする（社会の視点）」「客室料（2019年度比較）を+20%にする（経済の視点）」に向かって取り組まれています。

「アメニティプラスチックゴミを0にする」取組においては、10月12日(土)イオンモール草津で「令和6年度滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減優良取組表彰」を受賞されました。組合は龍谷大学・滋賀県中小企業団体中央会と連携して取り組んだ「使い捨てのプラスチック製アメニティを無くすことによるCO₂およびプラごみ削減への貢献」事業で受賞され、表彰式では岸本副知事から組合の黒田SDGs推進委員長へ賞状が手渡されました。

さらに、「滋賀県産食材の利用量を50%にする」取組において、10月15日(火)琵琶湖ランドホテルで組合主催の「滋賀県の魅力発見!地産地消大交流会」を開催。県内の宿泊施設で使用する食材の地産地消を推進することを目的に、生産者や加工事業者と宿泊施設関係者との交流会として開催されました。当日は40者以上が出席され、県産の米を使った植物性のヨーグルトや、草津市が特産品にしようと取り組んでいる青パパイヤ、県産のサツマイモで作った芋けんぴなどが並び、宿泊施設の関係者が試食し、説明に聞き入る姿が多く見られました。多種多様な分野の食品関連事業者が一堂に会して展示や試食を行うことで、県内宿泊事業者が地元特産品の理解を深め、地産地消を推進する契機となる有意義な交流会となりました。終了後には参加者73名で懇親会を実施し、終始和やかな雰囲気での交流を深められました。



SDGs取組宣言書



表彰式の様子



黒田委員長(左)岸本副知事(右)



ご挨拶される理事長



懇親会の様子



商談される参加者の方々

組合HP



組合
SDGs宣言



イベントや記念事業、研修会開催、社会貢献活動など、組合様の特徴ある活動について情報をお寄せください。

発行

滋賀県中小企業団体中央会 〒520-0806 大津市打出浜2番1号コラボしが21(5階)
TEL 077-511-1430 FAX 077-502-0111 URL <https://chuokai-shiga.or.jp>